

アンケート結果におけるポイント

- 自動車運転免許証の返納予定がない人が 80.5%。
（介護予防・日常生活圏域ニーズ調査 P24）
 - 「今のところ返納予定はない」が 80.5%、「3 年より先に返納予定」が 4.8%、「3 年以内に返納予定」が 3.8%を占める。
 - 高齢になるにつれて「3 年以内に返納予定」、「3 年より先に返納予定」の割合が高い。
- 介護予防のための通いの場に参加していない理由について、「新型コロナウイルス感染症が心配だから」が第 1 位。（介護予防・日常生活圏域ニーズ調査 P58）
 - 「新型コロナウイルス感染症が心配だから」（35.1%）が第 1 位。「興味がないから」（34.4%）、「時間がないから」（19.9%）などが続く。
 - 男性では「興味がないから」が第 1 位。
 - 74 歳以下では「興味がないから」が第 1 位。
- 就労意欲のある人は全体の 23.0%。（介護予防・日常生活圏域ニーズ調査 P67）
 - 「フルタイム・パートタイムの仕事をしたい」は 16.1%、「短時間で簡易な仕事をしたい」が 6.9%。「働かずに趣味を楽しみたい」が最も割合が高く、25.1%を占める。
 - 若年層ほど「フルタイム・パートタイムの仕事をしたい」と回答した人が多い。
- 認知症になった場合に自宅での生活を希望する人は全体の 45.3%。（介護予防・日常生活圏域ニーズ調査 P94）
 - 認知症になった場合に「家族の介護だけで自宅で暮らしたい」が 21.0%、「サービスと近所の協力も得て自宅で生活したい」が 24.3%。「特別養護老人ホームなど介護施設で暮らしたい」は 25.1%を占める。
 - 高齢になるにつれて自宅での生活を希望する人の割合が高い。
- 人生の最期に過ごしたい場所として「自宅」と回答した人は 55.4%。（介護予防・日常生活圏域ニーズ調査 P107）
 - 「自宅」が 55.4%を占める。
 - 性別でみると男性では「自宅」が 62.1%と、女性の 49.6%を上回っている。
- 介護者が不安に感じる介護は「日中の排泄」、「夜間の排泄」、「外出の付き添い、送迎等」、「認知症状の対応」。（在宅介護実態調査 P4～5）
 - 「日中の排泄」、「夜間の排泄」、「外出の付き添い、送迎等」は要介護度が上昇するにつれ

て不安を感じる介護者の割合が高い。

- 在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービスについては、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」の割合が高い。（在宅介護実態調査 P69）
 - 「特になし」を除くと、「移送サービス」が最も高く、要介護３以上では 39.5%を占める。